

ハイマート Heimat

ぐんま日独協会会報

2000年 9月25日 発行

22 ブルーノ・タウト
生誕120年
記念

発行者 平形 義人
発行所 ぐんま日独協会

〒377-0007
渋川市石原966 母心堂 平形眼科方
☎0279-22-0149 FAX 0279-24-6867



ブルーノ・タウト生誕120年記念植樹をする駐日ドイツ大使館 フォルクマー・シュテッカー公使と平形会長

■ハイマート22号の主な内容■

表紙	ブルーノ・タウト生誕120年記念植樹…	1
	2000年ぐんま日独協会大会報告……	2・3
	メッセージ……	4
	全国の日独協会との交流……	5
	エッセー ……	6・7
	事業報告・決算書・事業計画・予算書 本年度役員……	8

——ぐんま日独協会事業のお知らせ——

2000年8月23日(日)の役員会で、次のような事業の予定が決まりましたのでお知らせ致します。改めて、ご案内は差し上げますが、スケジュールに入れていただければ幸いです。

- A 国際フェスティバル 2000年10月1日(日) 10:00～16:00
県庁前広場(自由)
- B クリスマス会 2000年12月2日(土) 13:30～16:30
群馬会館(¥3,000) 1階 大理石の間
- C 2001年度総会・記念事業 2001年5月13日(日)・14日(月)
草津中沢ヴィレッジ(ホテル) 日帰り ¥3,000
1泊 ¥15,000

題字：平形義人 表紙写真：小林和男

2000年 ぐんま日独協会 大会報告

～ブルーノ・タウト生誕120年記念～

2000年は、ドイツ人の建築家ブルーノ・タウト（群馬県高崎市少林山達磨寺に1933年から2年3ヶ月在住）の生誕120年にあたります。そこで、ぐんま日独協会は、タウトゆかりの地である高崎市に多くのお客さまをお迎えし、次のような事業を行いました。

- 日時 2000年4月14日(金)・15日(土)
- 場所 高崎市シティーギャラリーコアホール 他
- お客様
- 駐日ドイツ大使館公使 フォルクマー・シュテッカー様
- 同 通訳 石井 桂子様
- 財)日独協会 常務理事 花井 清様
- // 理 事 河村 繁一様
- // 評 議員 福田 博行様 同夫人
- // 事務局長 久保田長吉様
- 講 師 武蔵野音大教授 古池 好様 同夫人
- // 作 家 朝雲久児臣様 同夫人
- 高 崎 市 市 長 松浦 幸雄様
- 群 馬 県 国際課長 小島トヨ子様
- 前 橋 市 企画調整課長 戸塚 良明様
- ブルーノ・タウト映像を作る会
- 群馬県経済同友会 代表幹事 土金 琢台様

1 出迎え 写真①

新幹線高崎駅プラットフォームにて、白の正装姿の駅長を中心に、ぐんま日独協会員がドイツの小旗を振ってお出迎え、お客様は、にこやかに降りて来られた。

2 昼食会 写真②

シュテッカー公使を中心に、松浦高崎市長、小島群馬県国際課長、土金群馬県経済同友会代表幹事（前群馬銀行頭取）等、総勢29名で、和やかな昼食会が高崎駅ビル6階のメトロポリタン高崎で行われた。

3 総会 写真④

ぐんま日独協会員による総会が行われ、平形 義人会長が再任された。

4 セレモニー 写真③

シュテッカー公使をはじめ、ご来賓多数の方々から、お祝辞をいただきました。

5 講演会 写真⑤

☆朝雲先生のご講演は、タウトの人間性を中心としたお話で、ドイツでは、「鉄のモニュメント」「ガラスの家」でデビューし、その後多数のジートルング（集合住宅）を建て、又、マイホーム、マイタウンでは画期的な「色彩宣言」を行った等、その功績は大きなものであった。

日本に来てからは、自然にマッチした建築として「桂離宮」に建築の真髄を認め、高崎少林山達磨寺の洗心亭に於いては

2年3ヶ月居住し、大論文と膨大な日記を残した。

その後、トルコのケマルアタチュルクの知遇を得ながら、彼の地で客死したタウトこそ、建築家を越えた「文明評論家」と言う“エスパー”のような稀有の人物であった。等々ユニークな内容の連続であった。

☆古池先生のご講演は、ドイツの国旗と国歌の制定過程のお話で、その内容は、日本の制定の経過とは余りに違うので、驚きの連続であった。ドイツは国民のコンセンサスを経て、不合理な点があれば思い切って変えて行く。一方、日本は多少ファジーな面があってもなかなか変更しない等、大変勉強になるお話でした。

この違いは、憲法にも言えることで、これは「国民性の違い」といえるのでしょうか。

6 記念植樹—表紙写真と古

今回の記念植樹は、スカーレット（キャンペラ）オーク13本で、ブルーノ・タウトが在住した高崎市少林山達磨寺洗心亭の山に名札を付けて植えられました。

今後成長すると、高さ35米となり、秋の紅葉には、すばらしいスカーレット色に覆われるとおもいます。



7 榛名神社・榛名湖散歩 写真⑦

(マイカー・マイクロバス散歩) 省略

8 懇親会（伊香保温泉木暮金太夫ホテル）— 写真⑧

当協会木暮副会長のホテルで行われた懇親会は、33名の出席を得て、なごやかに行われました。平形会長の仕舞い、鈴木事務局長夫妻のドイツ（バイエルン）のフォークダンス、シュテッカー公使のローレライの歌声等、バラエティー豊かなものでした。

9 自衛隊訪問と観桜会— 写真⑨

伊香保温泉に近い榛名山の中腹に、相馬ヶ原の自衛隊駐屯地（第12師団）があります。協会員の仲介で、今般正式な表敬訪問の話がまとまり、観桜会を兼ねて実施されることになりました。

ホテルから自衛隊のジープの先導、到着時は師団長閣下のお出迎え等、昼食会も含め多大な日独親善を果たしました。

尚、師団長は、佐藤 哲 陸将で、当師団から隊員が派遣されているゴラン高原から戻られたばかり、とのことでした。

10 高崎駅より帰京

多忙なスケジュールをこなされた公使以下お客様方は、無事高崎駅15：05発の新幹線で帰京されました。

以上
(報告 ぐんま日独協会事務局長 鈴木克彬)



高崎駅頭歓迎

写真①



昼食会 高崎市長・松浦幸雄

写真②



公使
フォルクマー・
シエテッカー
通訳
石川桂子
中村助役
高崎市長代理
グルーノ・
タウト映像を
つくる会
土金琢治
県国際課長
小島ト三子
写真③



総会・セレモニー(コアホール) 写真④



朝雲久見臣講師(左)、古池 好講師(右)

写真⑤



写真⑥

日独懇親の夕べ
(伊香保温泉金太夫)

写真⑧



榛名湖畔 写真⑦



メッセージ

2000年4月17日

377-0007
渋川市石原966
ぐんま日独協会
会長 平形 義人様

拝啓

この度、ぐんま日独協会会長並びに会員の皆様より一方ならぬもてなしを賜りましたことに、本状をもちまして改めて衷心より御礼申し上げます。重職にあられる方々との会談を含む充実した日程を組んでいただいたことは、興味深い意見交換を行うと共に群馬県の文化生活に関する貴重な勉強をさせていただく機会となりました。また各種視察、更には会長自らをはじめ皆様に素晴らしい芸をご披露いただいたホテル金太夫での盛大な夕食会も大いに堪能いたしました。私としましては、日独協会の会員の皆様方との懇親を心ゆくまで楽しませていただいた次第です。結構な記念品を頂戴しましたことにつきましても厚く御礼申し上げます。妻は参加できなかったことを大変残念がっております。宜しくお伝えくださいと申しております。貴日独協会の皆様方にもくれぐれも宜しくお伝えくださいますようお願い申し上げます。

敬 具

駐日ドイツ連邦共和国公使
フォルクマー・シュテッカー
(署名)



Tokyo, 17. April 2000

Herrn
Yoshito Hirakata, M.D.
Präsident der Japanisch-Deutschen
Gesellschaft in Gunma
966 Ishihara
Shibukawa-shi 377-0007

Sehr geehrter, lieber Herr Dr. Hirakata,

Ich möchte mich auf diesem Wege noch einmal sehr herzlich für die großzügige Gastfreundschaft bedanken, die Sie und die Mitglieder der Japanisch-Deutschen Gesellschaft in Gunma mir erwiesen haben. Das dichte und hochrangige Programm hat Gelegenheit zu interessanten Gesprächen gegeben und mir wichtige Einblicke in das kulturelle Leben der Gunma-Präfektur eröffnet. Auch die Besichtigungen und das große Abendessen im Hotel Kindayu mit den eindrucksvollen künstlerischen Darbietungen - insbesondere von Ihnen selbst! - haben mir viel Freude gemacht. Ich habe mich im Kreis der JDG-Mitglieder sehr wohl gefühlt.

Vielen Dank auch für die wundervollen Geschenke!
Meine Frau hat es sehr bedauert, daß sie nicht dabei sein konnte. Auch sie sendet herzliche Grüße.
Bitte geben Sie meinen Dank an die Mitglieder Ihrer JDG weiter.

Mit freundlichen Grüßen

ぐんま日独協会セレモニー 挨拶 高崎市長 松浦幸雄

本日は、『ぐんま日独協会』さんの「ブルーノ・タウト生誕120年 記念大会」が、ここ高崎市におきまして、このように大勢の皆様方をお迎えし開催されますことを、開催地の市長といたしまして、心から歓迎とお祝いを申し上げる次第でございます。

また、駐日ドイツ大使館公使でいらっしゃいます、フォルクマー・シュテッカーご夫妻におかれましては、公務ご多忙中のところ、わざわざ高崎までお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

24万高崎市民を代表いたしまして、心から歓迎を申し上げます。

皆様ご承知のように、ドイツと日本は、130年以上にわたる友好関係にあります。特に昨年からの今年にかけて「ドイツにおける日本年」が開催され、両国間の交流を促進するとともに、相互理解を深め、日独友好関係の強化が図られ、「21世紀における日独の新たな出会い」をテーマに、21世紀の新たなパートナーシップを確立する土台を構築するため、様々な行事が行われていると伺っております。

今年は、ミレニアム西暦2000年であり、また、21世紀の幕開けをひかえた、時代の大きな節目の年でございます。

このような特別な年に、「ブルーノ・タウト」生誕120年記念大会を開催されますとともに、ドイツと群馬の交流を積極的に進めていらっしゃいます、平形会長さんをはじめとする、関係皆様方に、心から深く敬意を表する次第でございます。

ここ高崎市は、かつて、世界的な建築家ブルーノ・タウトが居住していた地として、ドイツとは、大変ゆかりの深い土地でございます。

西暦2000年の今年は、本市にとりましても、市制100周年という記念すべき年でございます。

この記念すべき年に、ブルーノ・タウトの足跡と記録を後世に受け継ぐため、小山禧一さんを会長とした、「ブルー

ノ・タウトの映像を作る会」が発足し、市民運動としての取り組みが進められております。

タウトが日本でもっとも長く滞在した場所が、ここ高崎市の少林山達磨寺に残る「洗心亭」であり、彼が青春時代を過ごしたベルリン郊外のコリーンに似た高崎の田園風景を眺めながら、およそ2年間、この地を拠点として暮らしていました。

日本文化を愛し、日本で独自の芸術活動を展開していったタウトは、時代を超えた文化人であり、少林山の石碑に「われ日本文化愛す」という言葉を残しております。

このように、ドイツにゆかりのある本市といたしましても、「ブルーノ・タウト生誕120年」をきっかけに、ドイツに対する理解を深め、21世紀に向け、友好と交流をさらに深めて行けばと思っております。

どうぞ、『ぐんま日独協会』の皆様におかれましても、両国間の交流を促進するとともに、友好関係の一層の強化を図っていただきますことをご期待申し上げます。

結びといたしまして、ぐんま日独協会さんのますますのご発展と、ご参会の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。私のご挨拶に代えさせていただきます。 以上

☆ブルーノ・タウトの放映は12チャンネル (TV東京)
11月23日(祭) 11:23～12:54☆



駐日ドイツ連邦共和国公使

Dr. Uwe Kaestner

Tokyo, 17. April 2000

Sehr geehrter Herr Dr. Hirakata,

haben Sie ganz herzlich Dank für das wunderschöne Geschenk und die Fotos vom Treffen der Japanisch-Deutschen Gesellschaften in Mito, welche Herr Stoeker mir von seiner Gunma-Reise mitbrachte.

Meine Frau und ich haben uns sehr gefreut, haben uns gern an unser Treffen in Mito erinnert und hoffen sehr, daß wir auch selbst Ihre Gesellschaft in nicht zu ferner Zukunft besuchen können.

Für heute - mit nochmals herzlichem Dank und herzlichen Grüßen -

Dr.

—— 全国の日独協会との交流 ——



☆Marz 16.17. Botschafter Dr.U.Kaestner

水戸における全国日独協会連合会総会の折、駐日ドイツ大使 Dr. Uwe Kaestner から連合会長樋口廣太郎に贈呈せられた写真で、明治29年の明治天皇御親筆の批准公文書である。かくして日独交流親善が進められた。

☆April 14. B.Taut 記念植樹

少山山達磨寺のブルーノ・タウト記念植樹に用いられたスカーレット・オークは名外交官、情報局総裁、初代日濠協会会長河相達夫が戦後初の訪濠の際、首都キャンペラより贈られた実より育った国際親善の木です。その詠ぜられた短歌十首あり、その一首に

「外国のキャンペラオーク今ははや
わが日の本の 山祇の子ぞ」

ドイツのブルーノ・タウトは今や高崎の「B・T」になれかしと望む。Es fällt keine Eiche von einem streiche. (謔) 根気こそ成功のかぎ (オークの木は一撃では倒れない)。

☆Mai.28. 長岡日独協会

長岡日独協会総会に出席、前奏に対馬副会長の甥「石川一」の津軽三味線の演奏があり、講演は志賀明・ギゼリンデ夫人(鎌倉在住)で、人生の大切なことは「信頼」に在ると言われた。芳野昇会長夫妻の御厚情に感謝。

☆Juni 9. とちぎ日独協会

とちぎ日独協会創立10周年大会が、宇都宮大学会館に於

て Dr. Uwe Kaestner 大使の御講演があり、市長、学長、会員皆様が多揃って、懇親会の後、橋本孝会長の近著「グリム兄弟とその時代」を頂き、会長らのBMWの運転で宇都宮駅に送って貰いました。

☆Juni 22. 高野長英

渋川市民会館で高野長英(シーボルトに師事)水沢の一夜の前進座公演があった。渋川郷学の木暮五十根に師事した足利の柏瀬宗尹が渋川で長英より万国地図と絵と地球儀を贈られた故事を偲んだ。

☆Juli 21. 沖縄日独協会

沖縄サミットにシュレーダー首相来日。300軒離れた宮古島を訪れ、明治六年ドイツ商船ロベルトソン号救難の地の「博愛」の碑前で、日独の交歓が催され、第51番目の沖縄日独協会が誕生した。沖縄宮古郡上野村の川田正一会長に祝電した。

☆Aug.2. 草津ベルツ記念館

草津町制施行100周年の記念にベルツ記念館が建てられた。祝賀会は盛大で市川絃一郎町長はベルツ博士の故郷ビーティッハイム・ビツレンホン市長 Manfred List やベルツ博士の孫トーマ夫人、石橋長生博士等関係者多数を招待した。

☆Sep.4. B.Taut 放映

高崎市民運動による B. T. 映像の放映は11月23日(祭)11時30分より90分テレビ東京(12チャンネル)で放映と定まる。

☆全国機関紙Die Brücke 5月6月号には特に群馬に関する報道をして頂き感謝です。

ご希望の方は直接(財)日独協会へ(年会費7,000)

Tel 03-3265-3411 Fax 03-3265-3420

☆各地の日独協会から会報やお便りを頂いて元気づけられています。厚く感謝申し上げます。

(御芳名) 茨城日独文化協会、神戸日独協会、とちぎ日独協会(KASTANIEN)、千葉日独協会(Die Eiche)、福井日独友好親善協会、岩手日独協会(創立10周年記念誌)、豊橋日独協会(人類の未来を思う——佐々木洪一会长遺稿)

☆会員御一同様の御健勝と御多幸を祈り上げます。

(ぐんま日独会長 平形義人)

ゲルヒルト・トーマ夫人

日本温泉協会会長
ぐんま日独協会副会長 木暮 金太夫

ゲルヒルト・トーマ夫人はベルツ博士夫妻の唯一の孫娘である。大正11年6月1日(1922)、トク・ベルツとマルタの娘としてマウレルで生まれた。ゲルヒルトの祖母に当たる花・ベルツ博士の死後、大正11年4月、日本に帰着したのでドイツ在住のゲルヒルトは祖母花に一度も会ったことはなかった。花は帰国後も孫娘であるゲルヒルトに深い愛情をそそぎ、日本の着物や手作りの人形やおもちゃなどを送りつづけた。またドイツ在住の父、トクは昭和14年(1943)、花が着た二着のドレスを形見としてゲルヒルトに渡した。このうち白いドレスは花が天皇陛下に謁見したとき着たもので、グレーのドレスは花がウエルテンベルグ王に招待された時着たもので

ある。ゲルヒルトも自分の結婚式にこの白いドレスを着用したし、ゲルヒルトの長女ウタも結婚式にこのドレスを用いた。この記念すべき二着のドレスはゲルヒルトにより現在まで大切に保存されてきました。さて16年前、昭和59年(1984)6月20日の日本経済新聞の文化欄に沼田仁太郎氏のベルツ夫人の祖母愛届ける一託されたおもちゃ50年ぶりに西独の孫娘へ〜という記事が掲載された。この記事は沼田仁太郎氏の父(医師)が戦前に花夫人から託された品(花夫人の収集せる風俗資料ミニチュア約100点)で、第二次世界大戦で長らくそのまゝになっていたものを昭和59年になって仁太郎氏がアウグスブルグに住むゲルヒルト・トーマ夫人を訪ね届けたという大へん感動的な記事である。ゲルヒルトの来日は昭和44年11月(1969)ベルツ博士顕彰句碑が西明寺境内に建立された時が最初である。それ以来、平成2年10月(1990)、ぐんま国際温泉フェスティバル出席のため娘ウタと共に、平成6年2月(1994)にはベルツ花生誕130年祭出席のため、同年2

月21日には伊香保の日本温泉資料館のベルツ記念室も訪ねている。また平成8年8月20日には花ベルツ展が草津で開催されそれに出席するため来日している。今回草津町制施行100周年記念式典が平成12年8月2日挙行され、ベルツ記念館もオープンした。ゲルヒルト・トーマ夫人もシュミット村木真寿美さんと共に招待され来草した。ゲルヒルト・トーマ夫人は祖母花の形見である前記二着のドレスを今度草津町に寄贈した。また石橋長生医師も以前から長英先生が所持していた花愛用の日本帯を草津町に寄贈された。翌8月3日にゲルヒルトはベルツ夫妻の新婚旅行の地である伊香保温泉ベルツの湯に立寄られた。シュミット村木真寿美さんも同道された。ゲルヒルト・トーマ夫人はベルツ博士夫妻ゆかりの地伊香保、最初に系統的指導をした温泉地伊香保にも記念となる品を残そうとの御配慮をいたゞき次のような品々を贈っていたゞき感謝している。記念の品々とはまず、トーマ夫人が祖母花の形見として大切に保存していた西陣織の日本帯と、ハト・ベルツ(昭和47年歿)の遺品である日本語版ベルツの日記(特注草表装合本、ドイツ製、昭和40年代)と前記沼田仁太郎氏が昭和59年、ゲルヒルト・トーマ夫人に届けた花ベル



花・ベルツ展、於、草津温泉、平成8年8月20日
花・ベルツの形見のドレスの傍でゲルヒルト・トーマ夫人と筆者

ツ収集の日本の風俗資料(ミニチュア資料)の一部である。この資料のうちには獅子舞の獅子頭、手づくりの小型和本、小型のぼっくり下駄、小型の竹筥などが含まれている。これ等の記念すべき品々は伊香保の日本温泉資料館にベルツ関係資料として大切に展示保管させていたゞくことにした。尚返礼としてゲルヒルト・トーマ夫人にはぐんま国際温泉フェスティバル記念誌夫人のテープカットの写真(入)と筆者のベルツ博士と群馬の温泉の別冊をさし上げた。また同道されたシュミット村木真寿美さんからもベルツが学んだライプツヒ大学全景写真(1890)やベルツ博士関係資料のコピー三点ほどいただいたことを附記しておく。

『南独ローカル鉄道の復活』

高崎市 白倉 卓夫

南ドイツ、オーベルシュパーベン、パロック街道沿いの町、歴史的な修道院で知られるオクセンハウゼンと王様のいる城のあるウーアルトハウゼンの間19kmを走るエクスレ鉄道(Oechsle:仔牛ちゃん)は1899年に設立された古い歴史をもつ狭軌鉄道である。のどかな丘陵地帯を”花を摘みながら”の速さで、まさに牛のようにのんびりと走る博物館的蒸気機関車が今でも5月から10月の間、ここを走っている。この列車はこれまでも定期便以外に結婚式の時などには招待客を乗せて走るチャーター便としても親しまれてきた。たまたま1993年に、NHK衛生放送開始三周年記念事業の一環として企画されたシリーズ(素晴らしき地球の旅)、南ドイツ編(パロック街道、春の歌)でこのエクスレ鉄道が紹介された。縁あって度々この地を訪れていた妻がこの鉄道のことをテーマに応募したところ、幸いにもこの番組に取り上げられたからである。取材のため妻と姪の二人のレポーターを含むNHKスタッフ一行はこの地に二週間ほど滞在して撮影し、纏められたこの番組は国内のみでなく、ドイツ向けにも編集されて彼の地でも多くのドイツ人に見てもらえたようだった。しかし当時、エクスレ鉄道は経営難で運転は中止されていた。動かぬままの客車の窓で「エクスレがまたはしればいいのに！」と呟く日本人レポーター達の言葉は多くのドイツ人のエクスレ鉄道復活への強い意欲を掻きたてたに違いない。

い。設立100年を迎えることもあり、人々の熱意が実ってエクスレ鉄道は復活した。沿線住民一人一人が一株100マルクの株券を購入して一株株主となり、その設立に参加した。私のところにも一枚の株券が送られてきた。毎年5月開催の株主総会への招待状が日本にまで届けられていたが、今年は並行してエクスレ祭がオクセンハウゼン市を舞台に6月16日から開かれたようだ。日本では殆ど知られていないこの小さな町の、町起こしに偶然のことで私達も片棒を担がせてもらうこととなったわけである。再興直前の1997年暮れにオクセンハウゼン市にヘロルド市長を訪れる機会があった。その際、日本の旅行者に南ドイツにも蒸気機関車の走るこういう町や村のあることを宣伝して欲しいと強く依頼された。帰国後わが国大手旅行者に接したものの、その願いは無理なようだった。有名な都市に滞在して短時間でとんぱ帰りができる場所でない企画は無理だということだった。各地の名所旧跡をみ、スペチアリテートに舌鼓を打って帰る観光から、人々との交流を通して異国の歴史や文化、人々の思考にまでじっくりと接する滞在型に旅行形態を変えていくのはまだまだわが国では難しいようだ。



独日協会総会見聞記

前橋市 佐藤 信一

本年度独日協会総会は6月2日・3日首都ベルリンで開かれ、日本側から9協会15名ドイツ側は35協会約150名が出席し盛況を極めた。ドイツでは年次総会を毎年開催地を変えて行っている。昨年はビーレフェルト昨年プレーメンであった。私も出来るだけ出席することにしており、今迄フランクフルト、ザールブリュッケン、レムゴー、プレーメンの総会に出席して来たので顔馴染が多い。

実は私が日本を発ったのは5月25日で先づアムステルダムへ着いた。此所で3日間滞在しオランダの休日を楽しみ、陸路ベルリンへ入ったのは29日の夕方であった。ベルリンでは10年来の親友であるメッシング氏宅に泊めて貰い、市内や近郊の訪問を楽しんだ。茲数年ベルリンは首都機能移転により、大幅な都市改造が行われ就中ポツダムブラッツに

ソニヤやベンツの大型ビルの新築が行われ、ライヒスターク(国会議事堂)の改築が完成寸前となっている。ポツダムブラッツは昔ベルリンが東西に分断されていた時の分岐点であり、きびしい検問の行なわれた所があるが、今や全ドイツへ向けての文化情報の発信地として、ソニヤやベンツが芸術的にも素晴らしいビルを造り上げた。近くには音楽の殿堂であるベルリンフィルハーモニーも聳え立っている。

今回のベルリン滞在中ブルーノタウトの遺蹟をたずねた事と6月1日の昇天祭(Himmel Fahrt)をドイツでは父の日として休日に行っている事を知った。



B. タウトの記念碑



独日協会総会(ベルリン)

草津姉妹都市ピーティックハイム・ ビツシゲン市のこと

安中市 井口 実・井口リウ子

8月23日に開かれた群馬日独協会役員会に出席させて頂き、役員の方々のドイツを愛し、ドイツを理解する心の現れを会議中の言葉の端々に感じた。

会長さんからドイツでは乾杯の際、「ブロージット！」カップを上げ、同席の一人ひとり目と目を合わせ、一口飲んだら、もう一度全員と目を合わせてお互いの友情と健康を確かめ合う。会長さんから「役員会ではドイツ方式でやりましょう」との言葉があった。

ドイツの環境問題を調べるため、最近ドイツへ行かれたSさんから、ドイツの家庭ではごみを家の中に持ち込まない。スーパー等もビニール袋やトイレ等へ入れては売らない。瓦等はデポジット方式で空瓶を返却すれば瓶代は、もどって来る由。

毎年ドイツ旅行をなさっている医師のSさんからは、近著「階級アラカルトⅢ」を頂く。ホームステアをなさった悲喜こもごもの話をなさるTさん。

ドイツ歌曲がお上手と伺った方もいらした。皆さんのお話を聞いているうちに1993年6月に、ドイツ・ピーティックハイム・ビツシゲン市へ、姉妹都市締結30周年記念式典出席のための訪問団に加えて頂いた時のことが思い出された。<日記の一部から>

6月25日(金) 晴

5時起床、6時30分に朝食をすませ、迎いのバスで市庁舎へ行く。夕べこの町に着いた時は、人っ子一人居なかった通りも、今朝は三々五々と並木通りを歩く姿が見えた。

ビ市の市庁舎は木造3階建、いや屋根裏も入れたら4階建かな。古いがよく手入れの行き届いた美しい建物。窓や階段を飾る花々が印象的だった。

市庁舎前で2組に分かれて市内見学となる私達のグループは市庁舎のうしろにあるホーモンドハウス(資料館)の見学から始まる。市庁舎裏の道に面した壁には直径50cm程のビ市との姉妹都市の紋章が6個並べられ、草津町のシンプルなマークは、真ん中にビ市のそれと並んであった。旅先で親戚に会ったように懐かしさを覚える。

ホーモンドハウスの中は、各姉妹都市(ビ市が結んでいる日本、イギリス、フランス、ハンガリー)の歴史的資料が整理され、展示されていた。草津からの生活資料は食生活、毎日の生活用品、衣類、昔の生活の写真等と分類されてガラスのケースに納められており、懐かしく見学した。夫が持っていた硬貨を袋に入れてプレゼント、館長さんから喜ばれた。

ホーモンドハウスから石畳のゆるい坂道を下り市庁舎前の16世紀に出来たという噴水、市庁舎の時計塔には文字板の下の2頭の山羊が時間になると角をぶつけ合い、その時、下にいる男のバイブが動くという仕掛けであった。

ビ市は町並み保存に力を入れており、歴史的のある古い家の修理には市費を当てているとのことだった。

旧市街を囲む城壁、中世の騎士の絵の描かれている高い門、どの路地も石畳が美しい。火事が頻繁に起こるので、町中のパンをまとめて一ヶ所で焼いたという石造りのパン小屋(現在も祭りの時は使う)どこを切り取っても絵本のページのような美しい町並みだ。第二次世界大戦の折り、イギリス空軍の空襲を奇蹟的に免れたのも一因であろう。

門前の十字路で、美しい門に見とれていると、トラックのエンジンを止めて運転手がこちらをじっと見ている。私達を待っていてくれたのかと道の端に寄るとエンジンをかけて十字路を横断して走り去った。

リスト市長の話では、門内(市内)は歩行者優先で車は進入禁止、営業用は時間を決めて入れる。初めは反対もあったが、現在は定着し、問題はないとのこと。観光客が安全にゆっくりと散策できる町だった。

南ドイツ、オーストリア、スイスを旅して

事務局 鈴木 克彬

平成12年5月21日から31日まで妻の和子と二人だけで、9泊11日の行程で中部ヨーロッパのフライブルグ(ドイツ)、ブレゲンツ(オーストリア)、ツェルマット(スイス)の3ヶ所を旅して来ました。その概要をまとめてみます。

◎フライブルグ…独日協会フライブルク支部長との交歓…

フライブルクには、環境問題の勉強に行くのが目的でしたが、日独協会の木暮沢子さんの紹介で、独日協会フライブルク支部長のFrau Kiku Manshardさんにお目にかかり、交流を深めさせていただきました。その上Kikuさんの車で私の母校である成城学園分校のアルザス成城校(フランス)まで訪問することも出来ました。

また、Kikuさんの案内でBad Krozingenの保養地を訪ね、旬で、本場のアスパラガスの料理をはじめて美味しかったです。…おいしかったです…

フォークダンスを通しての友人であるSchlottermullerさんのグループの例会場も訪問することも出来、ドイツの方々と一緒にドイツの踊りも踊りました。

◎ブレゲンツ…古藤さん(元沼田市在住の日独協会員)と面会…



マッターホルンを背にして

Bregenzには3泊したのですが、その際、ぐんま日独協会の角田・野馬両副会長からのお話もあり、古藤菊乃さん(沼田出身で5年前前、Dr. Albert Reimanさんと結婚)を南ドイツのRadolfzellにお訪ねしました。古藤さんは大変喜んでくださり、お見せするつもりで持っていた日独協会の方々の写真の欲しいといわれ、懐かしさのあまり、全部差し上げる羽目になってしまいました。

Bregenz Radolfzellは、ともにボーデン湖のそばにあり、遊覧船の船旅を堪能することが出来ました。

◎ツェルマット…マッターホルンはすばらしい…

スイスのエンゲルフラウには二度程行く機会があったのですが、マッターホルンはチャンスがなく、今回は念願の訪問でした。そのため、Zermattには3泊し、登山電車やロープウェイを使って四方の山々に行き、白銀に覆われた4,000メートルの展望を満喫しました。

尚、ツェルマット近辺の登山電車やロープウェイには、運賃のシニア割引(25%)があり、多に活用させていただきました。シニア対象は、男性65歳、女性62歳以上です。

◎環境問題…ごみを出さない工夫…

上記三国とも、グリーンコンシューマー運動(緑の消費者運動)の考え方が自然な形で定着しており、家庭に余計なごみは持ち込まないという姿が見られました。

スーパーマーケットでは、野菜、果物、肉類はすべて“バラ売り”または“あみ袋入り”でプラスチック系の容器は見当たりません。一方、ペットボトルはデポジット制(預かり金は30~40円)が実行され、自動戻し機まで一般化していました。

レジ袋は勿論、有りませんし、有っても有料です。

環境問題について、困難な課題を先送りせず、現在の生活の中で、点検に対応している姿勢に、学ぶべき点を多く感じました。以上

俳句

夏の思い出

高崎市

小林 和男

舗装路の波立ち初めし極暑かな
街騒にて
緑蔭に馬休めをる湖畔かな
榛名湖畔にて
吹割や飛沫を空に瀧落つる
全国吹割旬大会
湖に佇つ吹割瀧の神氣浴び
〃
植え方の揃ひて棚田活気満つ
〃
雲の峰浅間の嶺を押しけり
小諸にて
松輝の全きこえや樺の森
玉原湿原にて
朴の花心に収め家路さす
〃
掠め翔ぶ翡翠くろき一線に
〃
想い出を心にきざみ夏野去る
井野川にて

1999年ぐんま日独協会事業報告

- ☆1999年4月15日(木) 総会及び講演会
 ……特別ゲスト 駐日ドイツ大使館文化部長
 カール・A・ケーラー氏……
 11:30～13:00 昼食会
 13:00～13:45 総会
 14:00～14:45 講演会 A ベルツ博士と伊香保
 講師 木暮 金太夫先生
 14:45～15:30 講演会 B ベルツ博士と草津
 講師 沖津 弘良先生
- ☆1999年2月13日(土) 環境問題 講演会 ……協力……
 演題 ドイツ人から見た日本の環境問題
 講師 小林 ドリス先生・小林 ユリア先生
- ☆1999年5月12日(水) 群馬県への表敬訪問
 駐日ドイツ大使館 参事館
 広報部長 アウワー氏
 平形会長 他6名にて対応
- ☆1999年6月 ぐんま日独協会事務所引越しに関する臨時役員会
- ☆1999年6月 ぐんま日独協会事務所の移転
 前橋市日吉町から渋川市石原 平形義人宅に移転
- ☆1999年9月 機関誌 ハイマート20号発行
- ☆1999年10月31日(日) 群馬県国際フェスティバルに参加
 ……新県庁前広場にて……
- ☆1999年12月5日(土) ぐんま日独協会クリスマス会
 場所 群馬会館 地下室
 内容 A 津軽三味線、石川 一氏の演奏を聞く
 B クリスマス会
- ☆2000年1月4日 ぐんま日独協会 前事務局長 中村 鉦一氏 逝去
 ……1月7日の告別式に参加……
- ☆2000年2月4日(日) 役員会
 場所 前橋市亀泉町 幸福亭
- ☆2000年3月 機関誌 ハイマート21号発行
- ☆2000年3月6日(月) 役員会 メトロポリタン高崎(総会会場下見)

1999年ぐんま日独協会会計報告

収入の部	
前年度繰越金	129,602円
会費	667,500円
年会費	個人3,000円×100=300,000円 家族 500円×15=7,500円 法人10,000円×36=360,000円
事業費	430,000円
雑収入	90,119円
合計	1,317,221円

支出の部	
事業費	550,752円
総会	344,127円
クリスマス会	206,625円
郵便・切手・電話代	
通信費	76,344円
事務費	42,076円
印刷費	229,320円
講演会費	60,000円
交際費	40,000円
引越し費用	14,175円
合計	1,012,667円

☆収入1,317,221円-支出1,012,667円=次年度繰越金 304,554円

監査：以上 間違ございません。 黒田 とめ子
 平成12年4月10日

2000年ぐんま日独協会事業計画

- ☆2000年3月5日 ハイマート21号発行・発送
 ☆2000年3月16日・17日 全国日独協会連合会総会(水戸市)
 平形会長・佐藤副会長・対馬副会長 参加出席
 ☆2000年4月14日(金) ぐんま日独協会 昼食会・総会・講演会
 駐日ドイツ大使館 フォルクマー・シュテッカー公使 来県
 ☆2000年10月 ハイマート22号発行・発送
 ☆2000年10月1日 群馬県国際交流まつり参加(県庁広場10～16)(自由)
 ☆2000年11月23日 11:30～12:54 ブルーノ・タウト放映
 (12チャンネル) TV東京
 ☆2000年12月2日 ぐんま日独協会クリスマス会
 13:30～16:30(群馬会館1F・大理石の間)
 (予告2000年5月13日 11:00より草津町にて2001年度総会)

2000年ぐんま日独協会会計予算書

(2000年1月1日～12月31日)

収入の部	
☆前年度繰越金	304,554円
☆会費	510,000円
個人	3,000円×100人=300,000円
家族	500円×20人=10,000円
法人	10,000円×20社=200,000円
☆事業費	400,000円
☆雑収入	130,000円
合計	1,344,554円

支出の部	
☆事業費	400,000円
☆会議費	50,000円
☆通信費	120,000円
☆事務費	30,000円
☆印刷費	500,000円
☆講演会費	100,000円
☆広報費	50,000円
☆交際費	50,000円
☆予備費	44,554円
合計	1,344,554円

ぐんま日独協会役員 …2000年…

会長	平形 義人
副会長	佐藤 進一・角田 勤・対馬 良一・木暮金太夫 豊泉伊三男・北爪 和男・高橋 徳光・田口久美子 富岡恵美子
事務局長	鈴木 克彬
副 長	井上 晃良
会 計	伊藤 廉平
監 査	黒田とめ子・木暮 沢子
常任理事	久保 洋・田所 浪子・神岡 順次・横山 秀夫 堀口 靖之・森戸 良一・阿久澤達子・飯塚実枝子 渋谷ミドリ 高田 卓爾・井口 實・沖津 弘良 松浦 孝久・小林 和男・井口りう子・川島 孝一 市村しげ子・井上 敏子・大島 昭子・沢井 修子
理 事	関口 陽二・小野里光明・塚越 平人・堀口 吉七 井草憲太郎・小林 喬・中沢 晃三・白倉 卓夫 朝雲久見臣・土屋喜代子
顧 問	

【新会員募集中】

希望者は下記へご連絡下さい。
 〒377-0007 渋川市石原966 母心堂 平形眼科方
 TEL 0279-22-0149
 FAX 0279-24-6867

◇原稿ご案内◇

日独交流につながるご感想・情報・会員消息・作品を
 住所・氏名・職業・年齢・電話番号明記の上、お寄せ下
 さい。紙面の都合で編集部で手直しさせていただくこと
 があります。(800字以内)